

ヘルパー事業所連絡会 報告書

社会問題となっている福祉分野の人材不足は、三田市の障害者支援のヘルパーにおいても同様であり、益々深刻さが増している。障害福祉サービスにおける居宅介護事業所だけでなく、現在は介護保険サービスのみを提供している訪問介護事業所を含む三田市内のヘルパー事業所が、情報交換や研修を通じて障害福祉に対する理解と関心を深め、また、専門性や資質向上を図ることで、障害者支援のサービスを提供する事業所や人の不足に対する課題解決の一助となるよう連絡会を隔月に実施した。研修で取り上げたい内容は去年度の年度末に取ったアンケートにて決定した。

*本来は、年6回開催予定だったが、今年度は、講師の方との日程調整の関係で年5回の開催となる。

○ヘルパー事業所連絡会の開催状況

開催日	内容	参加者数 (事業所数)
5月10日(水)	「ヤングケアラーについて」 講師：オフィス リブ 岡松 岳史氏	13名 (9事業所)
7月12日(水)	①移動支援改訂について(障害福祉課より) ②「ノーリフティングケア」講義と実技 講師：ナチュラルハートフルケアネットワーク兵庫 藤井 幸氏	27名 (13事業所)
9月13日(水)	「人材育成と利用者の理解についてのグループワーク」 講師：障害者生活支援センター 大前 美寿々氏	6名 (5事業所)
12月13日(水)	移動支援ガイドライン改訂後、各事業所の対応の仕方や判断しにくい事例に関する意見交換 障害福祉課：萩原氏、久保氏、有賀氏参加	14名 (9事業所)
3月13日(水)	「精神疾患の方への関わり方のヒント」 講師：NPO法人 あすなる 彼谷 哲志氏	12名 (5事業所)

【成果と課題】

- ・「ノーリフティングケア」の実技の研修は、他の研修に比べ多くの事業者が参加した。現場で役立つ情報の共有や実際体験してみる場として、参加者の充実感が高かった。また、この実技研修を受けた後、各事業所で「ノーリフティングケア」を職員研修に取り入れた事業所もあった。
- ・制度が改訂されたのち、各事業所で対応の仕方や判断しにくい事例等について情報共有し、市役所職員を含めて確認できたことは、今後の対応を見直すきっかけになった。
- ・課題としては、研修内容によって、参加事業所数に差があることが明確になっている。研修内容を決定する際に精査する必要がある。

<開催場所>総合福祉保健センター、12月13日（水）三田市民センター

延べ人数：60名

参加事業所：36事業所

【居宅介護支援事業所】

ねくすと、WELnetさんだ、三田市社会福祉協議会 中央ホームヘルパーステーション、土屋訪問介護事業所 神戸北センター、ポシブル、ニチイケアセンター三田、ニチイケアセンターウッディタウン、神鉄ケアサービスセンター三田、もりのおと

【訪問介護事業所】

オアシス三田ヘルパーステーション、

【その他】

障害福祉施設沢谷荘、相談支援事業所オフィス リブ、三田市障害福祉課、三田市障害者基幹相談支援センター、三田市障害者生活支援センター